

こんにちは。

楽メールは高価なだけあって使いやすいですし、信頼性が高いステップメール送信ツールです。

月額課金の ASP 型ではなく、1度購入すれば一生使える「買取制」です。

レンタルサーバに導入することになるので、当然レンタルサーバへの支払いは発生しますが、ASP 型に比べると微々たる物ですし、ホームページ運営にも必要ですしね。

・・・というような価格面のメリットが一つ。

そして今問題になっている「迷惑フォルダに入ってしまった、読者までメールが届かない！」という問題も解決します（完全な解決は無理ですが、かなり解決しやすいです）。

といたしますのは ASP 型ステップメールの場合ですと、スパムメールを送りまくっている人と同じメールサーバ（メール送信に使うコンピュータ）を使うことが多いので、あなたまでスパム扱いされてしまうのです。

買い取り制の場合には、契約したレンタルサーバにアップして、そのレンタルサーバのメールサーバを利用してメールを送信します。

ですからたまたま同じメールサーバでスパム行為をされてしまうと、あなたも同様にスパム扱いされてしまう可能性は充分あります。

しかし ASP 型の場合に比べて、確率は減ります。なぜならスパマーの数は限られているのに対して、レンタルサーバの数はたくさんあるからです。

『最近スパマーが増えているので、そうとも言い切れないのでは？』

そうですね。ホント迷惑ですよ。

その場合には「IP アドレスの買取」をお勧めします。これについては最後の方で触れています。

このようにメリットが大きい「楽メール」ですが、残念ながら大きな欠点があります。

「アクセスごとに送信する」という仕組みです。

楽メールの場合には「send.cgi」というプログラムでメール送信を行っています。つまり「send.cgi」が起動されない限りはメールは送信されないんです。

じゃあ誰が「send.cgi」を起動するのでしょうか？

あなたがします？まさかね。

で楽メールの製作者が考えられたのが、訪問者に起動してもらう仕組み。大胆な発想ですよ。

つまりあなたのホームページに、プログラムを起動するためのある文字列を記述してもらいます。そうすることで、そのページに訪問があった際に「send.cgi」が起動され、メールが送信されるのです。

ただし「send.cgi」では、**最高でも 200 件の送信しかしてくれません。**サーバに負荷がかかるという理由で、200 に制限しているようです。

これはどういうことか？

1 人訪問 (= 1 アクセス) があった際に 200 件送信。

で 2 人目の訪問でさらに 200 件。ただし前回の送信から 1 分程度の時間をあける必要あり。

3 人目の訪問でさらに 200 件。同じく以前から 1 分以内に訪問があったもそれは無視。

- ・
- ・
- ・

アクセスがないホームページの場合、何日もメールが送信されないなんてことも・・・？

1 アクセスでたったの 200 人にしかメールが送れないなんて、現実的ではありません。

さて整理しますと、問題点は以下の 2 点。

アクセスごとの送信

1 回の「send.cgi」実行で 200 通しか送れない

痛いですね。

そこでいろいろ試した結果、解決策が見つかりました。

アクセスごとの送信 サーバが 1 時間に 1 回、**確実に実行**。これに通常通りの「アクセスごと送信」が加われば、悪くない話です。

~~1 回の「send.cgi」実行で 200 通しか送れない~~ 500 通に拡張。1000 でも 2000 でも可能ですが、サーバに負荷がかかり、**最悪アカウント停止になるかもしれないので、お薦めしません**。500 くらいなら大丈夫だと思います（自己責任でお願いします）。

ではさっそく説明に入りますが、**これを実現するためには「xrea」かその上位バージョン「coreserveer(コアサーバー)」を利用しなければなりません。**

Xrea >> <http://www.value-domain.com/xrea.php>

コアサーバ >> <http://www.coreserver.jp/>

これら 2 サーバは、機能の割に安いです。なぜなら・・・複雑だからです。面倒です。初心者はまず無理です。運営者側の手間が少ないので（ユーザにまかせっきりなので）安いんですね。

私がお手伝いすることもできるので（ちょっとだけお金をもらいますが）、ご遠慮なくメー

ルをください。

>> <mailto:web@1st-biz.net>

さて解説の前に、1つダウンロードしておいて欲しいソフトがありますもちろん無料です。

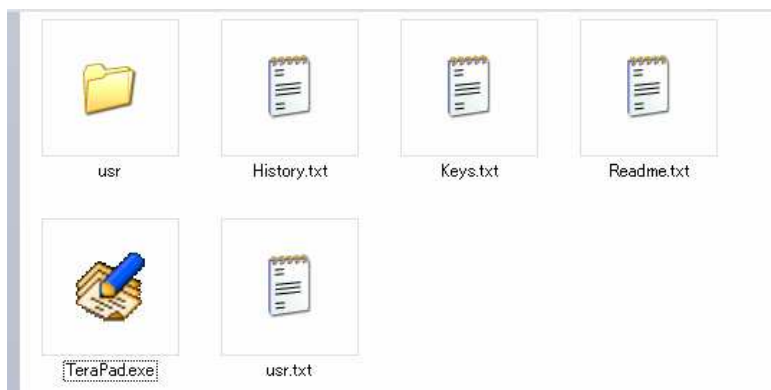
テキストエディタです。

Windows に標準でついている「メモ帳」では不可能な作業があります。それは「改行コードの変更」です。

よくわからないと思います。でも結構です。わからなくてもいいです。とにかく「改行コードを変更して保存する必要がある場面があるので、以下のソフトをダウンロードして解凍しておいてください。

>> <http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/writing/se104390.html>

解凍すると以下ようになります。



「TeraPad.exe」をダブルクリックで起動すると、テキストエディタが立ち上がります。後ほど使いますので。

では解説です。

ファイルの修正

まずは楽メールのプログラムを書き換えちゃいます。

ちょっと危険なので、「distribute」フォルダの「cgi-bin」フォルダにある「index.cgi」のバックアップをとっておくことをお勧めします。

ではまず「distribute」フォルダの「cgi-bin」フォルダにある「index.cgi」をメモ帳か何かで開いてください。

そして 206 行目にある「200」という文字 2 箇所を「500」にしてください。

お持ちのバージョンによって、206 行目じゃない可能性もあります。その場合には「each = 200」などで検索してみてください。必ずどこかにあります。

00196	exit;	00196	exit;
00197	}	00197	}
00198		00198	
00199	#-----	00199	#-----
00200	# 送信方式の設定	00200	# 送信方式の設定
00201	#-----	00201	#-----
00202	sub method {	00202	sub method {
00203		00203	
00204	my \$method = \$param['method']-0;	00204	my \$method = \$param['method']-0;
00205	my \$each = \$param['each']-0;	00205	my \$each = \$param['each']-0;
00206	\$each = 200 if (\$each > 200);	00206	\$each = 500 if (\$each > 500);
00207	my \$sleep = \$param['sleep']-0;	00207	my \$sleep = \$param['sleep']-0;
00208	\$sleep = 60 if (\$sleep > 60);	00208	\$sleep = 60 if (\$sleep > 60);
00209	my \$partition = \$param['partition']	00209	my \$partition = \$param['partition']
00210	\$partition = 100 if (\$partition >	00210	\$partition = 100 if (\$partition > 1
00211		00211	
00212	my \$chk_sleep = \$param['chk_sleep']	00212	my \$chk_sleep = \$param['chk_sleep']
00213	my \$r_sleep = \$param['r_sleep']	00213	my \$r_sleep = \$param['r_sleep'] -(
00214	my \$chk_f = \$param['chk_f'] -(00214	my \$chk_f = \$param['chk_f'] -0;
00215	my \$f_mail = \$param['f_mail'];	00215	my \$f_mail = \$param['f_mail'];
00216		00216	
00217	\$r_sleep = 10 if(\$r_sleep > 10);	00217	\$r_sleep = 10 if(\$r_sleep > 10);
00218	if(\$chk_sleep && !\$r_sleep){	00218	if(\$chk_sleep && !\$r_sleep){

次に、5935 目に右下の図のように 1 行を追加してください。その際、その上の行をコピーしてきて、「200」という文字 2 箇所を「500」にすればいいです。

お持ちのバージョンによって、5935 行目じゃない可能性もあります。その場合には「each 200>」などで検索してみてください。必ずどこかにあります。

```

05929 <option $each150>150</option>
05930 <option $each160>160</option>
05931 <option $each170>170</option>
05932 <option $each180>180</option>
05933 <option $each190>190</option>
05934 <option $each200>200</option>
05935 <option $each500>500</option>
05936 </select>
05937 通づつ送信する。 </td>
05938 </tr>
05939 <tr>
05940 <td colspan="2"><font color="#FF0000">
05941 </tr>
05942 <tr>

```

修正は以上です。これをいつもどおりにサーバにアップしてください。

そうすると「送信方式設定」画面では以下のように「500」が選べるようになります。

送信方式を選択し、送信方式に応じた設定を選択後、「更新を反映」ボタンをクリックしてください

アクセス毎に送信する

1回のアクセスにつき 通づつ送信する。

※ 配信日程以外のメール送信でも使用されます。(一括送信)

※ 1回の送信数が多い場合、送信するとサーバーに負荷を掛けます。

アクセス毎送信の場合、一度に送信するメール配信件数は最大で200件に制限しています。
システム全体の登録人数が多い場合は、送信数に制限を掛けます。
[設定マニュアル.html](#)「ご利用サーバーでの制限」をご覧ください。

分割で送信する

(推奨) 秒毎に (推奨) 送信する。

※ 1回の送信数が多い場合、送信するとサーバーに負荷を掛けます。

必須条件

- ▼バックグラウンドでCGIの起動していること。
- ▼CGIが常時起動していること。

サーバー制限設定

ご利用のサーバーでsendmailを使用する際、特別な制限がある場合以下の設定を行ってください。

500を選んで更新してください。楽メールに関する設定は以上です。これで1回の実行ごとに最大200通送信だったのが、500通送信に変わります。

cron の利用

では引き続き、アクセスに依存しない送信方法である「cron (クロン)」を使った送信方法です。

「cron」を使うとどうなるかという簡単に言えば、サーバが自動的にメール送信してくれるということ。

とはいっても1時間に一回しか実行できません。

一回の実行で500通送信ですから、1000通なら2時間かかります。3000通なら6時間かかります。

もしもっと早くしたい場合には、先ほど「inex.cgi」に対して行った「500」という文字の修正を「1000」とかにしてください。ただし私は「500」でしかやっていません。

ではまずは「cron.sh」というファイルを作成します。

「cron」ではこのファイルを実行します。この「cron.sh」には、楽メールで用意しているメール送信プログラム「send.cgi」を起動するようなコードを記述します。

記述は面倒ですし、誤りがあるとダメなので、以下より cron.sh ファイルをダウンロードして修正して利用してください。

>> <http://www.1st-biz.net/Download/cron.lzh>

上記をダウンロードして解凍してください。

拡張子が「sh」という、いままで見たことがないファイルだと思います。ですからダブルクリックしてもたぶん開きません。

ですから先ほどダウンロードして「TeraPad」を起動し「ファイル」「開く」で、上記ファイルを指定してください。

```
cron.sh
0 |1 |2 |3 |4 |5 |6 |7 |8 |9
1 #!/bin/sh
2 #PERL
3 /usr/local/bin/perl /virtual/●●●●/public_html/▲▲▲▲▲▲▲▲/distribute/cgi-bin/send.cgi
4 exit
[EOF]
```

と はご自身の環境によって異なります。

詳しく説明します。

まず xrea もしくは coreserver にログインします。



『サーバーアカウントの登録・管理・購入』をクリックします。

■ [汎用JP専用コントロールパネル](#)

■ [オークション \(出品ドメイン 出品する\)](#)

サーバーアカウントの登録・管理・購入

サーバーのアカウントのお申し込み、管理を行います。

■ [サーバーアカウントの登録・管理・購入](#)

└ [ADD](#) - 取得済み無料サーバーアカウントをデータベースに追加

└ [SIGNUP](#) - 無料サーバーアカウントを取得・作成

└ [MOVE](#) - 異なるユーザーへ移動させる

CORESERVERアカウントの登録・管理・購入

└ 位管理/CORESERVERのアカウントのお申し込み、管理を行います

サーバアカウントの「ウェブ」をクリックします。

サーバアカウント設定を行います。

変更できるサーバアカウント (2 個)

アカウント@サーバ	有料契約	有効期限	購入/削除/移動
██████████@xrea.com [サブドメイン:未設定] [サーバ設定:ウェブ/メール]	有効	██████████	購入 / 削除 / 移動
██████████@xrea.com [サブドメイン:未設定] [サーバ設定:ウェブ/メール]	有効	██████████	購入 / 削除 / 移動

説明

- 購入・・・「XREA+(PLUS)」サービス利用権を購入します。購入されると、有効期限まで広告は一切表示されなくなります。
- 削除・・・当データベースから登録を削除します。(注意！ 無料ウェブのアカウントは削除できません)

メニューの「CRON ジョブ」をクリックします。以下のような画面になります。

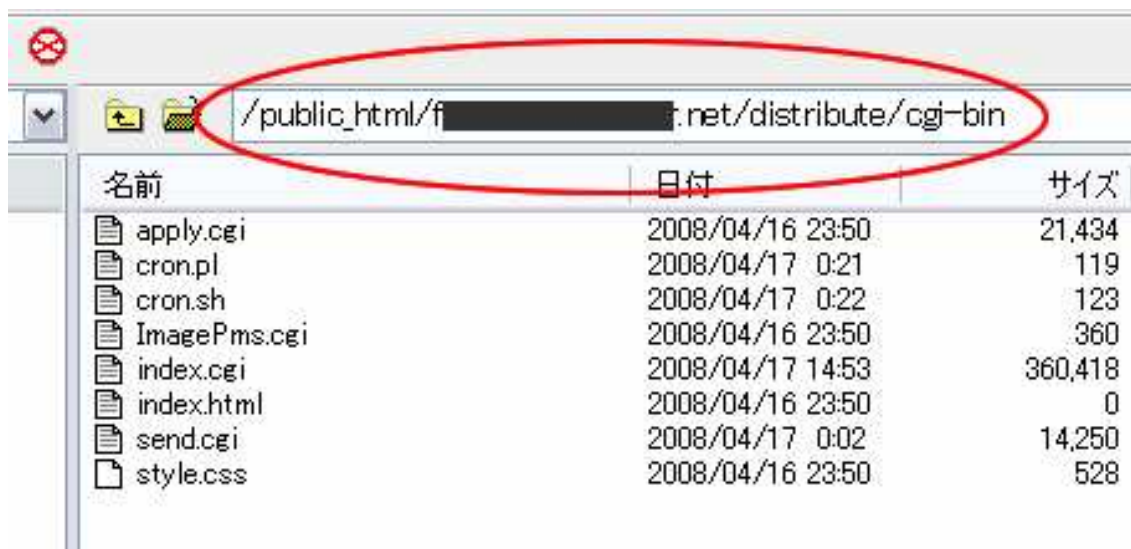
The screenshot shows the XREA.COM management interface. On the left is a navigation menu with the following items: 管理メニュー (ID: firstbiz), 項目の説明・仕様, パスワード再発行, メールアドレス設定, ホスト情報登録, FTP設定, ファイルマネージャ, ディスク使用容量, アクセスログ閲覧, アクセス統計, データベース, CGIインストール, ツール, **CRONジョブ** (highlighted with a red box), サーバ間コピー, and 開鎖. On the right is a table with columns for '分' (minutes) and '仕様' (specification). The table contains several rows, each with a '分' field and a '仕様' field. The second row's '仕様' field contains the text '/virtual/██████████/' and is circled with a red oval.

赤丸の/virtual/ / がアカウント名です。アカウント名を cron.sh の の部分に入

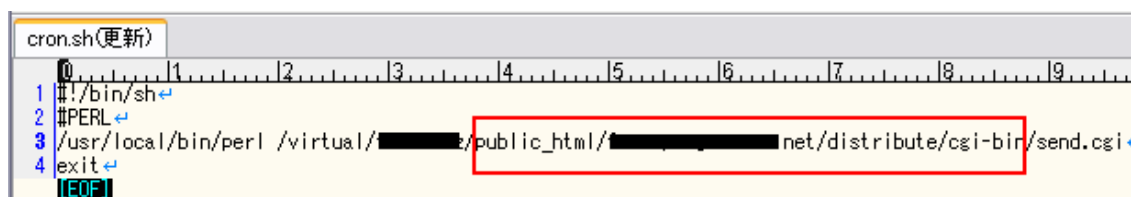
れてください。

上記の画面は後ほど使いますので、閉じないでそのままにしておいてください。

そして次に の説明ですが、アップした楽メールの「index.cgi」が格納されているフォルダをFTP上で開きます。



赤丸の部分をコピーして以下の部分に貼り付けてください。そして末尾に「/send.cgi」と書きます。「スラッシュ (/) + send + ドット (.) + cgi」です。



場合によっては以下のように、ドメイン名が記述されていないかもしれません。

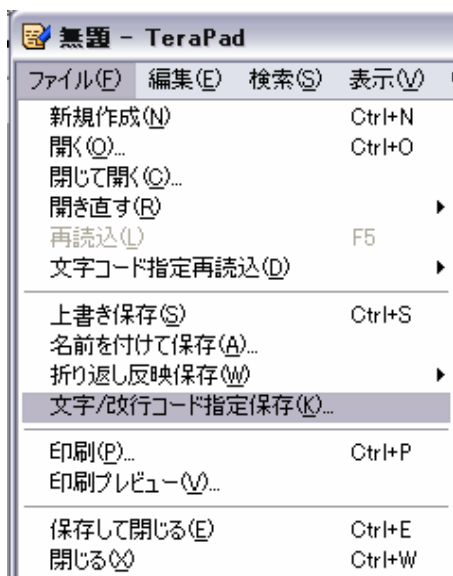


その場合には、以下ようになります。



これで完了ですが、保存する際に注意点があります。

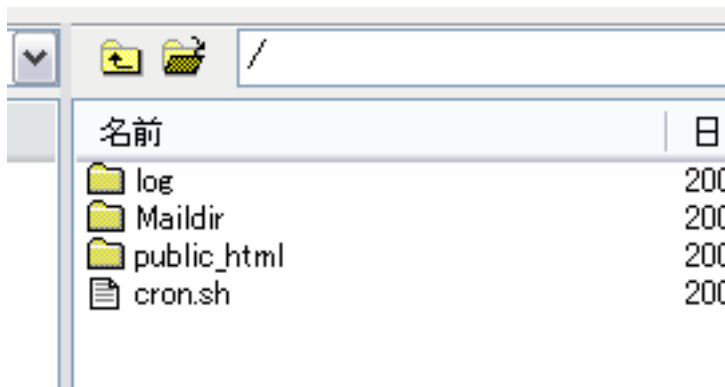
「ファイル」 「文字/改行コード指定保存」を選択してください。





改行コードを「LF」にして OK を押してください。これで改行コードが変更されて保存されました。

保存しましたら、以下の場所にアップします。「public_html」と同じ、最上位の階層です。



アップした「cron.sh」を右クリックして、属性変更を選択します。



現在の属性を「705」にしてください。

では次に、先ほど開きっぱなしにしておいた管理画面を見てください。

以下の部分に「cron.sh」と入力してください。

分		時	
<input type="text" value="0"/>		<input type="text" value="*/1"/>	
/virtual/███/cron.sh			

そしてすべて半角で、

分の欄には「0」

時の欄には「*/1」（アスタリスク+スラッシュ+1）

日の欄には「*」（アスタリスク）

月の欄には「*」（アスタリスク）

曜日の欄には「*」（アスタリスク）

と入力し、画面下の「保存」をクリックしてください。

こうすることで、1時間ごとにメール送信機能が実行され、送信すべきメール（ステップメール、一斉配信ともに）があれば送信を行います。

ただしお分りの通り、ちょっと面倒です。操作をどこかで間違っている可能性もあります。

ですから必ずチェックしてみてください。

チェックの方法としては1つプランを作成し、そのプランの読者は自分だけにします。

そして第二回目の分を追加します。日付は「1日後」にしてください。

不可	一時停止	配信回数	配信間隔	変更ボタン	本文編集
<input type="checkbox"/>	--	登録時	登録時配信	下に追加	本文の編集
	<input type="checkbox"/>	第2回	登録時より 1 日後	下に追加 削除	本文の編集
<input type="checkbox"/>		変更時			本文の編集

件名と本文を適当に作成します。

これで、購読申し込みがあった日の翌日に、テスト用のメールがあなただけに届くはずで
す。ちゃんと届くかどうかをチェックしてください。

あ、「稼働する」をクリックするのを忘れないでくださいね。

楽メールでは、夜中の12時とか、早朝とかに送信されないような機能がありますので、
利用した方がいいと思います。

おまかせ!楽メールPRO ver.2.4.0

新規作成 プラン一覧 管理者情報 送信方式設定 配信を実行する ログアウト ヘルプ

既存の配信プランを表示しています

「編集したい配信プラン名」または「配信ログ」をクリックしてください

配信プラン一覧

配信状態	操作	配信時間帯	操作
稼働中	停止する	8 時から 23 時まで	配信ログ
停止中	稼働する	0 時から 0 時まで	配信ログ
停止中	稼働する	0 時から 0 時まで	配信ログ
停止中	稼働する	0 時から 0 時まで	配信ログ
稼働中	停止する	0 時から 0 時まで	配信ログ

配信時間帯を更新

8時から23時にしておくのがいいと思います。夜中の3時に送信しても誰もみないでし
ょうね。

では以上になります。ありがとうございました。

もしご希望であれば、設定代行をいたします。その場合には xrea や coreserver へログインさせていただく必要がありますので、パスワードを一時的に変更しておいてください。代行は 5000 円ほどいただければ結構です。たぶんすぐに対応できます。

もしくはスカイプで電話しながら手順をお教えすることもできます。その場合にはさらに +5000 円をいただければと思います。

>> <mailto:web@1st-biz.net>

重要なことを忘れていました。

Coreserver の場合には IP アドレスを購入できます。

実際には月額 1500 円を払うのでレンタルということになりますが。

どうなるかという、IP アドレスはあなた専用となるので、他の人がスパムメールを送りまくろうとも、あなたとは別の IP アドレスなので、被害を受けないということです。

これができてしまうと、もう ASP 型のステップメールは不要ですよ。coreserver は一日 1 万件までの配信なら OK ですし (xrea は 3000 件までです)。

一斉配信のスピードだけはやっぱり ASP 型のステップメールシステムにはかないませんけど。早ければ 1 万件を 10 分で送れちゃいます。楽メールだと、このレポートで 1 実行あたり 500 に設定変更したとしても、 $10000/500=20$ 実行。

Cron を利用すると 1 時間に 1 回の実行が限度なので、20 時間。

1 万件に送信するのに 20 時間かかります。

値上げ前の告知などには適しませんね。

解決策としては1実行あたりを2000くらいにしちゃいますか？それだと5時間で1万件を送れますね。

一般的には、多くのレンタルサーバでは負荷が大きな cron 実行を認めていないので、2000件の送信はちょっと怖いですね。

もし試された方がいらっしゃいましたらご一報いただけると幸いです。

では。